

# 袋文字を作ろう

袋文字とは文字の外周に複数の枠線を重ねて作る文字の装飾手法。

## 袋文字の考え方

袋文字は太さの異なるいくつかの文字を重ね合わせることで作られる。



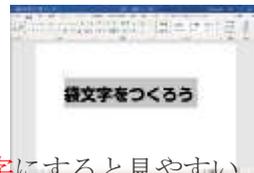
太い文字ほど下の階層に配置し、細くなるにつれて上の階層を重ねていく。

それぞれの文字は同じ書体、同じ文字サイズを使用。異なる書体や異なる文字サイズの文字を重ねても、綺麗に重なり合わない。

## 袋文字の作り方

### ◆Step1. 文字を入力

文字サイズは、**32Pt**程度で**太字のフォント**や**太字**にすると見やすい



### ◆Step2. 入力した文字をテキストボックスにする

入力した文字をテキストボックスに変換。

「入力した文字を選択」→[挿入]→[テキストボックス]→[横書きテキストボックス]でテキストボックスに変換

### ◆ Step3. テキストボックスの枠線を無くす

テキストボックスにはあらかじめ枠線が付いているので、不要な枠線を消す。

テキストボックスが選択されている状態で[描写ツール/書式]→[図形のスタイル]→[図形の枠線]→[枠線なし]で枠線を消す



### ◆Step4. テキストボックスを複製する

テキストボックスが選択されている状態で[ホーム]→[コピー]をクリック。**[画像 テキストボックスの選択状態]** [貼り付け]を2回押して合計3つにする。



## ◆Step5. 書式を変える



### 一番上のテキストボックスの書式変更

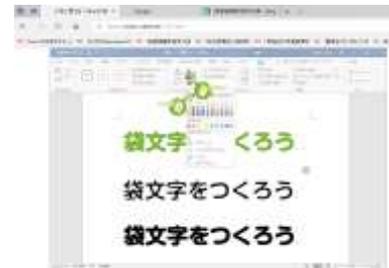
一番上に来るテキストボックスはフォントの色だけ変更。

◎ **手順** テキストボックスを選択して、[描写ツール / 書式] → [ホーム] → [フォントの色 (A)] で任意の色に変える。

### 真ん中のテキストボックスの書式変更

真ん中の層の文字は「文字の輪郭」を使って白い縁取りを作る。

◎ **手順** テキストボックスを選択し「描写ツール / 書式」 → 「ワードアートのスタイル」 → [文字の輪郭 (真ん中の A)] → [太さ] から **3pt** に。線の太さは、一番下で使う値より **2Pt** くらい小さくする。その差が外側の縁の太さになる。続けて [文字の輪郭] から **白** を選択



### 一番下のテキストボックスの書式変更

一番下の層の文字も同じように「文字の輪郭」を使って太くし、色も変更する

◎ **手順** テキストボックスを選択して [描写ツール / 書式] → 「ワードアートのスタイル」 → [文字の輪郭] → [太さ] から **6pt** に。続けて [文字の輪郭] を任意の色に変更します。



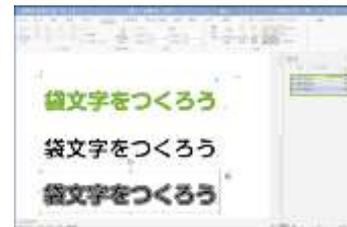
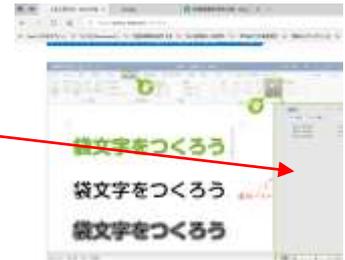
## ◆Step6. 重なり順を整える

あとは3つのテキストボックスを重ね合わせれば完成ですが、重なり順が正しくなければ重ねても意図するようにはならない。「オブジェクトの選択と表示」を使ってそれぞれのテキストボックスの重なり順を正す。

◎ 手順 [ページレイアウト]→[オブジェクトの選択と表示]で選択パネルを表示

選択パネルに表示されている項目は文書内に存在するオブジェクトの一覧。

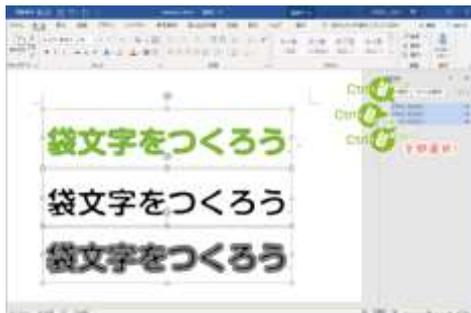
普通は、下にある物ほど下の階層、上にあるものほど上の階層にある。階層を変えたいオブジェクトを選択して▼▲のボタンで階層を移動し、階層を正しくする。↓



#### ◆ Step7. テキストボックスを重ね合わせる

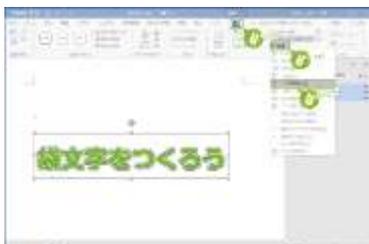
それぞれのテキストボックスを重ね合わせていく。マウスで動かして重ね合わせても良いのですが、ここは「配置」を使って正確に重ねてみましょう。

◎ 手順 「選択」パネルで「ctrl」を押しながら3つのテキストボックスをひとつずつクリックして3つのオブジェクトを選択



3つ選択できたところで [描写ツール / 書式]→[配置]→[上下中央揃え]で上下の中心を揃える↓

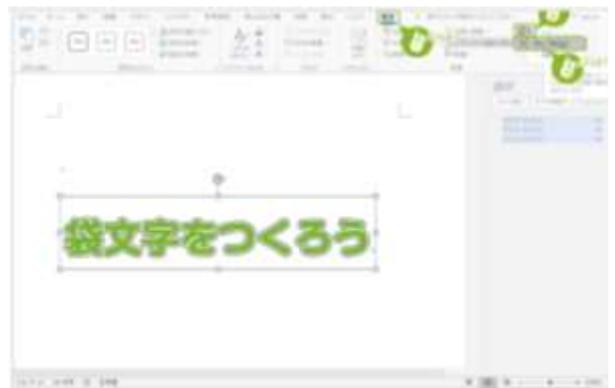
続けて [配置]→[左右中央揃え]で左右の中心を揃えて出来上がり↓



さいごに 3 つのテキストボックスをグループ化する。

3 つのテキストボックスを一つのオブジェクトとしてグループ化しておけば場所移動も楽。

◎ **手順** それぞれのテキストボックスが選択されている状態で [描写ツール / 書式] → [グループ化] → [グループ化]



**洋友会**